

1歳で～す

～前年2月の
1番最初に生まれた赤ちゃん～

すなさか しんや
砂坂 慎哉 くん

H19. 2. 2日生

父 淳哉 さん

母 裕子 さん

(吉川公民会)

○お母さんから一言
明るく、元気に育ってくだ
さいね。



☆楽々健康ウォーク☆

みなさん、一緒に歩いて気持ちいい
汗を流してみませんか？

○2月10日(日)

湯の香ほんのりコース

午前8時～宮之城温泉街出発

○2月23日(土)

霊峰紫尾体感コース

午前8時～平川宮農研センター出発

子どもたちが両親や家族・地域の方々の愛情に生まれ、健やかに成長していくこ
とは、当事者や家族だけでなく、母子保健に携わるみんなの願いです。

★個人を特定した母子保健の支援の始まりは、母子健康手帳交付から

妊娠届け出をすると、妊娠中や出産、子どもにかかる健康状況を記録する母子健康手帳を発行
します。この時、妊婦健康診査受診票の発行を行い、その後の乳幼児健康診査や教室開催の案内
がスタートします。

母子健康手帳は健診や予防接種状況、かかった病気などや発育状況を記録する大切な母と子の
健康記録手帳になり、子どもが親になる時の参考にもなるものです。

★母子健康手帳の交付数は

本町の妊娠届け出数をみると、旧3町あわせて220～230件あった10年前より、少子化
が進み、17年度：174件、18年度：179件、19年度は12月末現在で119件となっ
ており、胎児数に応じて母子健康手帳を発行します。

★最近、気になる家庭が？

妊娠届け出時点で入籍していないカップルがいる。(17年度：10組、18年度：12組)
妊婦の喫煙がみられる。

低体重児出生(2500g未満)が15～20人いる。

晩婚化が進んでいるが、10代の妊娠もみられる。

日常の育児を保育所、祖母、曾祖母がやっており、子の状況を母親が把握しておらず、母子健
診などでの問診に答えられない母親がいる。

発育、発達面で経過をみなければならない子が増加傾向にある。など

★望む妊娠・出産、楽しい育児をするために

女性は、母体の健康を保つ努力を！

(未婚の時から過度な減量は慎む！バランス良い食生活！十分な睡眠！節煙・禁煙！)

男性も節煙・禁煙・分煙を！

適正飲酒を！

エイズや他の性感染症で自分、パートナー、子どもの健康を害すること
がないよう！気になる人は、保健所や医療機関で検査を！

エイズ検査は、どこの保健所でも匿名で受けることができます。

妊娠前からパートナーとお互いを尊重した家族計画を！

妊娠・出産・育児に関しては、パートナーだけでなく、周囲の人にも
相談し、一人であるいは夫婦で悩まない！

地域の社会資源(民生児童委員、母子保健推進員、育児サークル関係者など)を上手に活用し、
他の家族との交流を！

みんなが次代を担う子どもたちや若い方々に成長をほめることばかけを！



健康
だより

元気な『さつまっ子』を育むために！